

災害時は物流の拠点に

党愛知県議団が視察

トラック協会が研修施設改修



中部トラック総合研修センターの機能について説明を受ける党愛知県議団(左側6人)

公明党愛知県議団(渡会 克明団長)は先ごろ、建て替え工事によって昨年11月にリニューアルオープンした県トラック協会の「中部トラック総合研修センター」(同県みよし市)を訪れ、施設の概要や機能について調査した。

同センターはトラックの運転手などが物流事業の総合的なスキル(技能)を身に付ける研修機関。約8万3000平方メートルの敷地に、運転の適性診断を行う機器などが導入された管理研修棟や運転練習コース、屋内

実技練習場などが設けられている。

これらの施設は災害発生時には、県と同トラック協会が結んでいる協定に基づき、物流拠点としての機能を担うことになっており、緊急物資の集積場所や輸送車両の待機場所などとして活用される計画。

県議団は説明を受けた後、各施設を見て回った。渡会団長は「災害時の迅速な支援物資の供給は必須。さらに安全・安心のまちづくりを強化できるよう支援していく」と話した。